

総合デザイン工学科とは？

総合デザイン工学科について見ていきたいと思えます。本学で唯一の夜間・土曜日中心の授業が行われているので、授業が被ることもなかなかありません。普段、他学科は知ることのない総合デザイン工学科の魅力について詳しくインタビューしていきます！

Q 総合デザイン工学の魅力は？

総合デザイン工学科は、建築土木の教育領域をルーツとする本学において、建築デザイン分野をより拡大する目的で設置されました。近年では、製品や情報コミュニケーションにも幅を広げ、3つの分野を、工学的知識を基本として総合的に学ぶことを目的としています。「デザイン演習」では3つの分野に共通したテーマを設定したデザイン制作で、分野を跨る協働・柔軟な発想力を養うことが出来ます。教員も、現代社会の第一線で活躍している者が多く在籍し、より具体的なデザインを学ぶことができます。

Q 学科再編によって、学習内容はどのように変わりますか？

そもそも学科再編の目的は、「時代の変化に対応できる、すなわち幅広い知識・客観的視野を備える人材を育てること」です。これは従来の総合デザイン工学科の目的に合致します。また、建築・都市・環境群の工学デザインプログラムのデザイン教育には学科再編をリードする役割が期待されると感じています。従って従来のカリキュラムの方向性に加え、現代社会で中心的な役割を担う「情報メディア」分野のカリキュラム構成について、より強化をしていきたいと考えています。

Q 高校生に一言！

現代の暮らしや製品社会の仕組みに疑問を持ち、アイデアがわいてくる人、興味のある人は一緒に学びましょう。そして新たな社会を創造する第一人者として、世界に羽ばたいてほしいです。

今回は江本間夫先生にお話を伺いました。「総合デザイン工学科って面白いな」と思った方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか？



かくいう私もその一人！今から、大学を考える人はもちろん、他の学科の人もぜひ他学科履修をしてみたいかがでしょうか？デザインの世界が貴方を新しい世界へ連れて行ってくれるでしょう。

生物工学科の親心、子知らず？

今年度から、学科再編ということで情報・生命工学群の「生物応用プログラム」に生まれ変わる生物工学科。今まで入試で不要だった数Ⅲが必要となり、教職課程が廃止されます。学科編成を機に三年次の実験科目がなんと二倍になるといふ！気後れしてしまう人もいるかもしれません。

しかし、実験科目の時間が二倍になる…。先生方も実験準備やレポートチェックなど、負担も増えるはずですが、そんなカリキュラム変更の裏側には先生方の暖かい親心が隠されているのです。

私たちは研究者の卵！！

生物応用科学で学ぶ生命科学（生命の営みを分子レベルで研究し、生活に役立てる学問）にはまだまだ未知なことがたくさんあります。従って、座学よりも自分の力で実験をして結果を解析・分析をする。わからないことはどんどん実験を重ねていき、また結果を分析する。このサイクルが何より大切なのです。そして学生自身で問題を解決する能力を身に付けていってほしいという願いが込められているのです。

社会という大海原を飛び立つ君へ

そして何より粘り強く、努力できる人になってほしいという願いも込められています。色々な人と出会い、興味をもってほしい。社会は、どんどん多様化しています。単に専門知識があればいいという時代は幕を閉じました。沢山の知識、価値観、そして主体性をもって物事に向き合える人。社会はそんな人材を欲しています。

今回は、門屋利彦先生にご協力いただきました。

皆さんいかがだったでしょうか？他の学科のことだけでなく、自分の学科についての新しい発見があったのではないのでしょうか。

同じ大学にいても、他の学科のことや学群の情報はなかなか知る機会がありませんよね。私たちはPro-miは、これからも前橋工科大学の魅力や学科・学群の魅力に迫っていきたいと思います。また、活動の一つとしてnote運用などもはじめました。興味のある方は、ぜひ大学のEメールから調べてみてください。では、また次号でお会いしましょう。（大平）